

子どもごえんき

参加無料

2014年5月3日 土・祝

午後1時～4時頃

会場：三河別院・岡崎教務所

岡崎市中町野添25 (裏面地図参照)

テーマ **みる、きく、あそぶ、ほとけの子**

おつとめ、おはなし、人形劇、ゆるキャラ大集合



人形劇団「むすび座」 による超大型人形劇！ 「じごくばっけいもうじゃのたわむれ」

持ち物：ほとけの子と念珠がある子は持ってきてね。ない子はお貸しします。

主催：真宗大谷派岡崎教区児童教化連盟 <http://okazaki-jiren.blogspot.jp/>

お問い合わせ：真宗大谷派(東本願寺)岡崎教務所

岡崎市梅園町1丁目1番地2 0564-22-2136



じごくばっけい もうじゃのたわむれ 地獄八景亡者戯

なつやす そふ いえ ひとり あず しょうがつこう ねんせい
夏休み。祖父の家に一人で預けられた小学校4年生の「じんたろう」は、ある日まっくらな蔵の中で、不思議な体験をします。ウスベエ、おザル、ハシゴエモン、ヤカン婆にランドセルパパ。祖父が大切にしている古道具達が動き出し、じんたろうに話かけてきたのです。

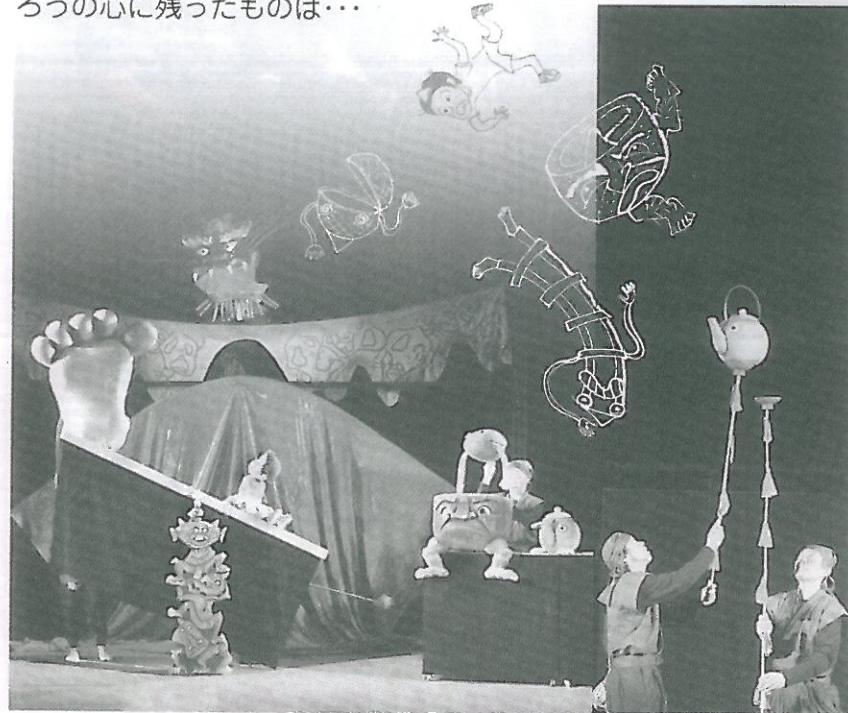
そこに地獄の鬼がやってきて、柱時計の振り子を盗んでいきます。じんたろうは古道具達と一緒に鬼を追いかけ、地獄に通じるオバケ井戸に落ちてしまいました。

じんたろう達は元の世界に戻してもらおうと「閻魔庁」へやってきます。ところが閻魔はどんな悪人も金さえあれば極楽行きにしてしまう極悪閻魔。お金を持っていないじんたろう達は、針山地獄、熱湯地獄…… 様々な地獄にお落とされてしまいます。

はたしてじんたろうと古道具達は、地獄を乗り越え、元の世界に戻ることができるのでしょうか。そして、じんたろうの心に残ったものは…



脚本/麻創けい子 音楽/熊沢 辰巳
演出・音響/永草 友士 振付/工藤 鏡道
美術/福永 朝子 照明/若狭 慶太 (藤井照明)



古典落語の世界を現代に置き換えて

「地獄八景亡者戯」は桂米朝の十八番といわれる落語断の一つです。

探してみると民話の中にも同じようなお話を見つけることができ、多くの人々に親しまれ、楽しまれてきたものということがわかります。「地獄」という恐ろしい世界や地獄の責め苦までをも笑い飛ばし楽しむというこの物語の中に、当時の庶民の底知れないバイタリティを感じます。

私達はこのお話を現代に置き換え、舞台、テレビ、ラジオ等で数々の脚本を手がけられている、名古屋市在住の脚本・演出家、麻創けい子氏と共に、元気の出るお芝居に仕上げました。

にぎやかな和楽器の生演奏とともにおおくりします。

人形劇団むすび座は、1967年に名古屋で生まれ、「子どもと子どもをむすびます。おとなとおとなをむすびます」との思いを持ち、数々の人形劇を創ってきました。劇団員は42名。活動は東海地方を中心に全国に渡り、海外公演も行っています。

人形劇団 **むすび座** 〒459-8001 名古屋市緑区大高町字川添86 <http://www.mc.ccnw.ne.jp/musubiza>
TEL (052) 623-2374 FAX (052) 623-9520 e-mail musubiza@mc.ccnw.ne.jp



会場：真宗大谷派(東本願寺)三河別院

岡崎市中町野添25

名鉄東岡崎駅から徒歩 20分

又は名鉄バス「徳王神社前」下車

駐車場は、三河別院境内東側の通用門から境内にお入り下さい。